

なかじま

こまじ

中島 駒次

慶応2年（1866）～昭和25年（1950）

渥美郡野田村（現 市内北島町）出身



中島駒次は明治34年（1901）に作物の促成・抑制の両方が可能である温室栽培に着手し、自宅の風呂場横に5坪のガラス室を建設、以降、温室内の温度保持に工夫を重ね、手間・費用をともに省ける中島式ボイラーを考案した。その後も設備を創意工夫し、栽培技術を向上させたことから、見学者が殺到し、研修生も受け入れた。駒次から指導を受けた人達によって温室栽培が広まり、地方温室園芸の発展に大きく貢献した。

生地の市内北島町薬師寺に「温室之元祖中島駒次頌徳之碑」がある。

温室栽培の始祖